

自分たち考えたアニメキャラについてグループで発表をまとめる子どもたち。三島市の田中郷小



児童がキャラ、アニメ創作

うるまでるび 芸術教室 動画作品化を指導

三島中郷小

三島市立中郷小で12「うるま」による、クリエイター、電子黒板やパソコン、NHKみんなのうた「おしりかじり虫」がスタート。2日間、創作に取り組んだで知られる人組のアニメーション制作を考えた。うるまでるびは、経

済産業省認定スーパークリエイター。うるまさんが若い頃、同市内でプログラミングを学んでいたことがきっかけで、4年前から同市内で子どもたち向けの創作ワークショップを開いている。

6年生引人が参加。初日は、体育館の床一面に広げた巨大な紙に、それぞれ自由な発想でアニメイラストを描いた後、5班に分かれて意見を集約。グループごとに、オリジナルキャラを完成させた。

2日目は、自分たちの動画制作にチャレンジし、ストーリーに合った台詞や効果音を入れて作品が完成させ、児童や保護者らに披露する。うるまさんは「言葉だけでなく、絵でイメージすることを身に付けることで、人生を豊かにする感覚を身に付けてほしい」と語った。

